Kumamoto green rotary·club district 2720 rotary international
KUMAMOTO
GREEN Rotary-Club

Reach within to Embrace Humanity

2011−2012年度 テーマ

国際ロータリー 「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」
R.I:会長 カルヤン・バネルジー

地区方針 「心機一転」
R.I.2720 地区 ガバナー 本田 光廣

熊本グリーンR.C. 「力を合わせよう」
熊本グリーンR.C. 会長 江上 泰弘

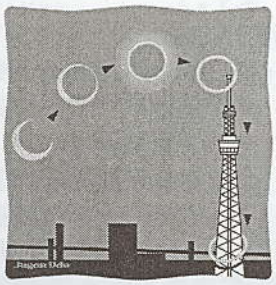
■例 会 日：毎週月曜日 18:30~19:30
■例 会 場：熊本市城東町4−2
熊本ホテルキャッスル
TEL096−326−3311
■創 立：平成元年2月22日
■会 長：江上 泰弘
■幹 事：松山 優喜
■会報担当：河野 景治
■事 務 所：熊本市城東町4−2
熊本ホテルキャッスル内
TEL096−354−4521
FAX096−354−4053
E-mail:kgrc@io.ocn.ne.jp

国際ロータリー 第2720地区 熊本グリーンロータリー・クラブ週報

【2012年5月14日】

第1045回
2011−2012年度 第39回
【例 会】

1. 開会・点鐘 18:30
・熊本グリーンRCソング
「友と語ろう」
2. 食事と交歓



来訪者の紹介 なし

友情の握手

会長スピーチ （江上 泰弘 会長）

今晩は。今日5月14日は信楽高原鉄道での列車事故が起こった日です。大惨事でしたが、朝からいきなり家内から聞かされました話です。この日 平成3年5月14日は、我が家の二男が生まれた日でした。すっかり忘れていました。

この後、本日のプログラムは 新旧のクラブ協議会です。あと1カ月と少しで会長の仕事も終わります。「あと何ヶ月で会長も終わりです」とは、決して言わないようにしようと思っていたのですが ガバナーからも1年を振り返っての懇談会の案内があったり 新旧クラブ協議会の時期だったりして ついつい言ってしまいました。

今期、目立った奉仕活動の計画もありませんでしたが 皆様の各委員会での計画や活動のお陰で無事に今期も終わりに近づいてまいりました。各委員会での家庭集会でしっかりした計画を立てて頂いた為、さまざまな行事や例会も運営されたと思います。

残りの期間も皆様 よろしくお願いいたします。

幹事報告 （山下 隆生 幹事）

■ 報告事項（その他のロータリー関係）
なし

■ 例会変更・取止め
● 熊本グリーンRC
5月28日（月）の例会は、ホタル観賞例会のため、同日18:30より「亭の元」にて行います。
● 熊本城東RC
6月11日（月）の例会は、歳の祝い最終家族会のため、同日18:30より「新茶家」にて行います。
● 熊本江南RC
・6月13日（水）の例会は、歳の祝いの会のため、同日18:30より「マリーグレイス」にて行います。
・6月27日（水）の例会は、定款第6条第1節に基づき取りやめます。

出席報告 田中 純司 クラブ管理運営委員

	会員総数	26名	出席率
5月14日	出席免除会員数	1名	
	計算上会員数	25名	
	出席会員数	23名	92.00%
4月30日	前回の出席会員数		
	メークアップ数		
	修正出席会員数		休会
メークアップ済み会員及びメークアップ訪問先			

卓話予定

5／21 「ワンピース構想」 絶版漫画古本屋きらら文庫 店主 橋本 博 氏
5／28 「ホタル鑑賞例会」 ★例会場所変更(於:亭の元)
6／ 4 「クリーンローターアクト合同例会 アクト活動報告」
★熊本グリーンローターアクトとの合同例会

グリーン・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及びません。というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

委員会報告

「ロータリーの友」5月号の内容紹介
報告者:河島　一夫クラブ広報委員長

スマイル　丸山 徹 会員

●江上 泰弘 君・松山 優喜 君
「今日の新旧クラブ協議会は宜しくお願いします。去年のこの頃は段取りが悪くドタバタしていたような気がします。山下佳介エレクトは準備万端のようにお見受けいたします。今すぐでもバトンをお渡し致します。」

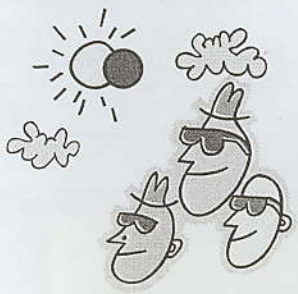
●松村 秀逸 君
「昨年はジャガ芋の花がきれいに咲いていましたが、芋が大きくなるために花をつんでしまいました。玉ネギは草が大きくなって見えなくなっていましたが、だれかが少し草取りをされていました。だれかと思ったら仙波会員が昨日とったとの事でした。ありがとうございました。御礼にスマイルします。」

●十時義七郎 君
「去る5月10日久し振りに新茶家で「ほたるの会」を催し、楽しい時間を過ごしました。この「ホタルの会」は2002～2003年度私がガバナー補佐を務めた年度の熊本第三分区の会長・幹事の皆様の集まりで、私が「体調をこわしたため、3年位休会そたものが復活したものです。改めて10年間のキズナに感謝し、又、新茶家のタタミがローソクで汚れ、大変だったと申し訳なくスマイルします。」

●丸山　徹 君
「昨日は、ほろニガ会の件で河島会員に御迷惑をお掛けしました。お詫びとお礼をこめてスマイルします。又、8月には私どもの薬学部で本田会員にご講演をお願いしています。こちらもお礼を込めてスマイルします。」

●廣坂 彰雄 君
「本日の新旧クラブ協議会発表の皆様お疲れ様です。」

●葉　髙源 君・栗山 義則 君・田中 純司 君・苔　孝之 君
「本日のクラブ協議会の実りの多いことを祈念してスマイルします。」



3. 例会プログラム
「新旧クラブ協議会」

委員会活動報告及び次年度への引き継ぎ事項

・会　計　河島一夫会計
・S. A. A.　廣坂彰雄S. A. A.
・クラブ管理運営委員会　山下隆生委員長
・クラブ広報委員会　河島一夫委員長
・会員増強委員会　上田觀一委員長
・奉仕プロジェクト委員会　本田悟士委員長
・新世代委員会　山下佳介委員長
・ロータリー財団委員会　河野景治委員長
「次年度会長方針」次年度会長　山下　佳介

各委員長より今年度活動報告と評価と反省及び次年度への引き継ぎを行って頂きました。
（当初の目標は週報の紙面上では割愛させて頂きます。）

●　会　計　河島一夫会計

★目標達成の具体的計画と実施状況
・クラブ管理運営、クラブ広報、会員増強の予算は、会員からの会費収入の範囲内にてまかなう。
・奉仕プロジェクトの予算は理事会承認の後、スマイルからの支出を活用する。
・広安愛児園学習指導支援は本年3月をもって終了したので、今年度末の会計報告時に清算する。
・今年度から実施しているテコンドー協会に対しての支援金を、理事会の承認を得て別会計として維持管理する。
◎評価と反省
・会費の入金状況も順調で、予算外の支出も無く順調に経過している。

●　S. A. A.　廣坂彰雄S. A. A.

★目標達成の具体的計画と実施状況
・例会開始時間の厳守に努め、挨拶時は私語を慎み耳を傾け、拍手を送る。
・発表と発表の間には、気軽におしゃべりが出来る様な間合いを作る。
・限られた時間なので、事前に報告内容を把握してスムーズに会が進行出来る様にする。
・来訪者が孤立しない様に隣が空席にならない様に気を配り、気軽に声かけなどをする。
◎評価と反省
・会員皆様のご協力で、私語も無く品位ある時間帯になった様に思える。
・会の初めの「友情の握手」等で和やかな雰囲気の会になったと思うが、発表と発表の間の取り方が悪く余裕のない時があった。

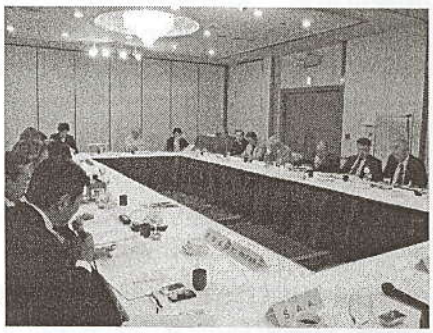
・事前の打ち合わせが悪く、時間の余裕が有るときでも発言の機会を与えられなかった。・皆様のご協力で雰囲気良く過ごされたのではないかと思われる。

● クラブ管理運営委員会　山下隆生委員長

①プログラム担当　(担当長)中島光司(副担当)河島一夫・仙波洋八

◎評価と反省

全体的把握ができず、臨機応変に対応できない場合がありました。新人卓話の時間を取っておりましたが、開催されなかったのは残念です。



②親睦担当　(担当長)山下佳介(副担当)松村秀逸・河島一夫

主な行事は下記の通りです。

「誕生会」:毎月第一例会・・毎月第一週の例会時

「観月会」・・9/26(於:田吾作) ※昨年に会わせたため時季はずれでした

「年忘れ家族会」・・12/19(於:キャッスル 11F)

「観桜会」・・4/2 桜(於:泉里)※桜に合わせ1週ずらして開催

「創立 23 周年記念例会」・・2/20(於」キャッスル)※宝塚出身の愛那結梨さんのミニﾘｻｲﾀﾙを行った。「蛍鑑賞会」担当:松村会員・・5/28(於:例会「亭の元」ホタル鑑賞:瑞巌寺公園付近)

「夫婦会(年祝いの会)」・・6/26 開催予定(場所未定)

「農業委員会」担当:松村会員　※ 11/6「イモ掘り大会と収穫祭」※季節毎にジャガイモ、サツマイモ、玉ネギ等を植え、草取りや肥料やり等手入れを随時行っている。

「家族旅行＋職業訪問」・・今年は今のところ未定

「ゴルフ同好会」担当:河島会員・・年4回～6回開催予定(7/26、10/25、11/22、1/17 開催済み、オビザーバーの参加も歓迎

「ほろニガ会」担当:河島会員・・年4回開催(8/19、11/24、2/16、5/27)ビジター参加も歓迎 何事も全員参加、家族参加が浸透してまいり、慶弔規定で「赤ちゃん誕生祝い」の他にも「ひ孫誕生祝い」の新設も検討しております。これにより、幅広い世代の親睦も検討しております。

「お互いの親睦を図るためにも例会後の親睦会も月一程度行っては」とも考えております。

ロータアクトとの親睦を図る意味でのクラブ例会への参加の奨励なども検討しております。親睦活動においてもオブザーバーの参加も積極的に動き、クラブの良さのアピールが今後のクラブ勧誘への道ともなるはずです。

◎評価と反省:担当長の山下佳介会員には、ほかの諸担当や会長エレクトのポジションにありながら、大変ご活躍頂き申し訳ありませんでした。サブに付いて頂いた、松村・河島会員のご協力もあり楽しい親睦がもてたとと確信しております。親睦担当の業務は多方面に渡るので、一人で行うよりチームを組んで計画をするのが一番ではないかと実感しました。

③会報担当　(担当長)河野景治(副担当)趙　健次・中島光司

◎評価と反省:会報担当長の河野会員には忙しい時間を割いて、写真撮影などお世話になりました。毎週の会報は、例会時、先週の内容の確認など楽しみにしております。親睦やイベント等が多い時など、報告等いろいろお手数をお掛け致しました。

④出席担当　(担当長)田中　純司(副担当)長野義文・河野景治

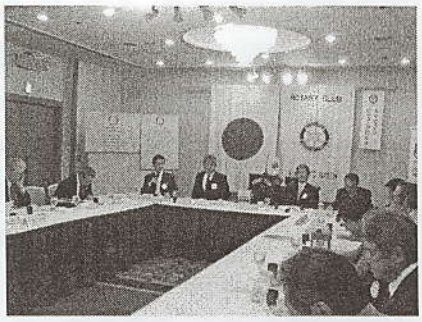
◎評価と反省:残念ながら100%達成の日は現在ないようです。昨年に比べて出席率が上がってのはクラブへの感心の表れだと感じます。多忙でなかなか参加できない方も、少しでも良いのでお顔を見せてもらえると幸いです。ロータアクトクラブの方でのメイキャップも増えているようですので、今後も今年以上に出席率が増える事を期待します。

⑤スマイル担当　(担当長)丸山　徹(副担当)仙波洋八・松村秀逸・栗山義則
◎評価と反省:担当長の丸山会員の出席が難しい中、副担当の仙波会員には大変お世話になりました。いつもながらの楽しいスマイルで4月末現在で672500円にのぼっております。当初は昨年までと同様に60万円を目標としておりましたが、今年から3年間はテコンドー協会への支援金20万円を含めて80万円を目標と致します、目標まではあと少しです。年度末までには達成する予定にしております。

⑥受付担当　(担当長)趙　健次(副担当)長野義文・栗山義則・石浦順一・新入会員
◎評価と反省:担当長の趙会員には、ベテランらしく安心して任せらる受付業務でお世話になりました。また新人の石浦会員も受付にいることで、雑談を含めいろんなことを学べたのではと自負しております。委員長の私の怠慢もありいろいろご迷惑をお掛けした節がありますが、問題なく業務が行われたと思います。

●クラブ広報委員会　河島一夫委員長
◎評価と反省
・石浦会員のお陰で、ホームページの新たな立ち上げができた。
・毎月、ロータリーの友の紹介を行った。

★目標達成の具体的計画と実施状況
1、「ロータリーの友」「ガバナー月信」を毎月例会にて紹介し、会員が「友」「月信」を毎月読むように推進する。
　※毎月、「友」及び「月信」の紹介を行った
2、クラブホームページの再構築、及び「動画」の導入。
　※石浦会員のお陰で、ホームページの新たな立ち上げができた。
3、「ロータリーの友」へのクラブ奉仕活動の投稿
　※今年度は、行わなかった。



●　会員増強委員会　上田觀一委員長
◎評価と反省
・会員からの推薦が全くありませんでした。
★目標達成の具体的計画と実施状況
・クラブ紹介のパンフレット発行が予定より、遅くなりました。
・今年度は前年度末より推薦が上がっていた石浦順一会員1名の入会で、年度初めの25名→26　名で1名増となりました。

●　奉仕プロジェクト委員会　本田悟士委員長
◎評価と反省
① 華友会支援については、その意義についてもコンセンサスを得られており、今後も継続して安定的な支援が要請される。
②広安愛児園学習支援は、長期にわたり比較的高額な予算を組んだ事業であったため、途中の対象生徒数の変動・減少等もあり、開始後において会内の意見が区々に分かれたことがあった。将来、継続事業を計画・実施するにあたっては、相手方(対象)や関係者・機関の属性、 機関、費用等について慎重な検討を要する。
③職業奉仕(職場訪問)については未実施である。早期に具体的な実施内容・方法を決定するべきであった。
④農業委員会活動支援は、奉仕のみならず会内懇親にも寄与する。
⑤ほたる保護・育成支援も同様である。なお、支援範囲の拡大要求もあると聞くが無限定な拡大はできないと当期委員会は判断している。
⑥今期は専ら活動費支援にとどまったが、3カ年の継続支援を予定しているので会員のいっそうのコミットを求めたい。

★目標達成の具体的計画と実施状況（評価反省については(1)も参照）
①募金箱を回す方法により4月末時点で17万6363円。今期末までに年間目標額20万円達成の見込みである。主催者の例会招待・活動報告（H23.7.25）やイベントへの参加で会員の関心　・関与を高めた。
②対象生徒が希望通り進学をし、平成24年度3月で事業終了している。担当講師の例会招待・活動報告（H23.7.25、H24.2.9 最終報告）。
③未実施
④ジャガイモ・里イモ・玉ネギの植付、除草、「収穫祭」（H23.11.6）へ参加実施。参加者の固定がみられるので全会員の関心喚起、関与を促したい。
⑤関係者例会招待・活動報告（H23.12.12）、観賞例会（H24.5.28 予定）。
⑥理事長及び選手5名の例会招待・活動報告（H23.8.1）。活動費20万円の支援。

● 新世代委員会　山下佳介委員長
◎評価と反省
①6名スタートから現在5名増の11名（女性9名、男性2名）あと3名くらい候補者がいます。
②毎月2回、県立大にて定期的に開催、内容も毎回会員が順番に担当して楽しい例会が出来ている。
・目標達成の具体的計画と実施状況
1. ロータリアンに会員紹介を積極的に勧める。
　・1部の方には紹介頂きました。
2. アクトの例会にロータリアンがローテーションで参加する。
　・約8割、延べ50人以上参加して頂きました。ありがとうございました。
3. アクトの地区行事に参加する。
　・出来ませんでした。
4. 親クラブとの合同例会を行う。
　・9月、3月、6月の3回実施。

● ロータリー財団委員会　河野景治ロータリー財団委員長
◎評価と反省
クラブ会員・各委員会の協力のもと②③について実施できた。特に⑤GSEついては今年度のクラブ主要事業の一つとしてクラブ会員全体で達成頂いた。
★目標達成の具体的計画と実施状況
・100万ドル食事にて、財団寄付を計画的に蓄積した。
・10月米山月間・2月世界理解月間での米山奨学生卓話（王暁博さん、申福貞さん）
・12月のロータリー財団セミナー（未来の夢計画についての勉強会）に出席。
・前年度のGSEの日本での受入活動に協力する。〈アメリカ・カナダより5名のGSEの　受け入れを10月15～19日にクラブ会員協力により実施〉

●「次年度会長方針」 次年度会長　山下　佳介
★　クラブテーマ「絆を深めよう」
　熊本グリーンロータリークラブの第24代会長を1年間務めさせて頂くことになりました。皆様どうぞ宜しくお願い致します。
　次年度国際ロータリー会長田中作次氏は30年ぶり、3人目の日本人RI会長であります。テーマは“Peace Through Service”「奉仕を通じて平和を」と定められました。また、わが2720地区ガバナー岡村泰岳氏は地区では、初めてのローターアクター出身でもあります。又、地区テーマは“ONE HEART”「心をひとつに」と定められました。
　そこで、我がクラブのテーマは「絆を深めよう」と定めさせて頂きます。
　昨年の東北大震災をきっかけに絆という言葉がよく聞かれるようになり、その言葉によってここまでなんとか復興してきたように思います。
　我がクラブは、元々他のクラブからは褒められるクラブでありますが、25周年を迎えるクラブとしていま一度いろいろなものを見つめ直して我がクラブの会員同士はもちろんの事、会員の家族とも絆を深めていきたいと思います。

また、ロータリアン同士、クラブ同士、さらにはロータリアン以外の人との絆を深めることによって、地区のテーマ「心をひとつに」となり、世界のテーマ「奉仕を通じて平和を」へとつながって行くと確信致します。具体的な方針につきましては、来月の次年度クラブ協議会の際に発表させて頂きたいと思います。

なにしろ、会長、幹事ともにまだまだ若輩者でありますが、若さを力にして一生懸命頑張っていきたいと思います。どうぞ御指導、御協力の程宜しくお願い致します。

4. 点鐘、閉会

ロータリーリーダー
Rotary Leader

ロータリアン行動グループからの支援

さまざまな国際奉仕プロジェクトについて専門的なサポートを受けられます

専門家の集まるロータリアン行動グループの存在をご存知ですか。

これらのグループは、世界各地でロータリーの活動をサポートしています。例えば、食用植物に関するロータリアン行動グループには、食用植物分野の認定専門家も含めた186人のメンバーが29カ国から集まっています。同グループは、飢餓と栄養失調の問題に持続可能な解決策を提供するため、発展途上国の現地で食糧を育てる方法を人々に教えています。

「ロータリーでは、たくさんのグループが、既に素晴らしい活動を行っています」と話すのは、同グループの委員長を務めるジョンG.ソーン元RI理事です。「新しいことを一から始めるよりも、ほかのグループが既に成功させているプロジェクトを支援すれば、共によりよい解決策を見つけることが可能になるでしょう」

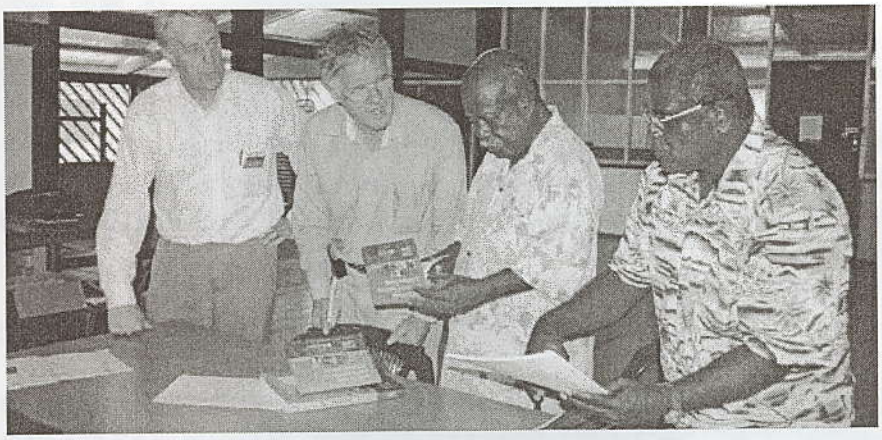
ソーン元理事は、飢餓や栄養失調に取り組むプロジェクトを成功させるヒントを紹介してくれました。

「まず始めに、食糧不足と栄養失調の問題を解決するという目標を明確に立てます」とソーン元理事。その後に、ニーズを確実に満たせるような解決策を提示することが大切です。また、プロジェクトの企画者は、緊急事態に対する1度限りの処置としてではなく、長期的な対応としてプロジェクトを設計すべきだとソーン元理事は強調します。

解決策は、「持続可能で低コスト、さらにはニーズを持つ人々が自助的にとらえられるもの」にする必要があります。

解決策を割り出した後は、現地で熱意を持って活動するロータリアンの強い協力基盤と地域社会の人々が重要です。また、「支援を受ける側の人々の尊厳を守ることが肝心」とし、地元での支援を築き上げる最善の方法は、地域社会を協力者として活動することです。

今後の奉仕プロジェクトを支援してくれるロータリアン行動グループをお探しの場合は、グループのリストをご覧ください。



適切な栄養のある食糧を供給するために地元のリーダーと活動するバズ・グリーンさん（食用植物に関するロータリアン行動グループの役員）とブルース・フレンチさん（農業分野の科学者）。